

2024年2月1日

各位

株式会社 宮崎太陽銀行

海砂栽培農法を用いたフリルレタス生産施設に協調融資 ～ 宮崎太陽銀行と日本政策金融公庫との協調融資により支援 ～

宮崎太陽銀行と日本政策金融公庫（略称：日本公庫）宮崎支店農林水産事業は、株式会社タラッサ農園（本社：宮崎県児湯郡高鍋町、代表取締役：縄田一暢（ナツカガノブ））に対し、宮崎太陽銀行42百万円、日本公庫『農業経営基盤強化資金』45百万円の協調融資を実施しました。

株式会社タラッサ農園は2016年創業、2023年7月に法人設立。今回、木城町に第2農場を開設してフリルレタスを増産します。当社は、ミネラルの豊富な海の砂を使用した養液栽培でフリルレタスを生産して九州内のスーパー等に販売します。フリルレタスは、サイズが大きく、味はえぐみが少ないなどの特徴で人気が高く、サラダ、サンドイッチ、肉巻きなど、様々なメニューで食卓を彩ります。

株式会社タラッサ農園は、農林水産省が進めている温室効果ガス削減の「見える化」事業で、最高評価の『三ツ星★★★』を獲得し、G7宮崎農業大臣会合での食事にも提供されるなど、SDGsへの取り組みも高く評価されています。

株式会社タラッサ農園代表の縄田氏は今回の取組みについて、「今回の事業規模拡大で、九州各県ならびに関東、沖縄などにも安定して出荷できる体制が整うことになります。今後は、新たな作物の産地化も計画しており、たくさんの方においしい野菜を届けます。」と意気込みを語っています。

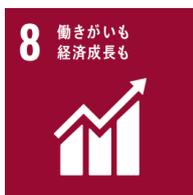
本件は、消費者にとって価値ある商品を効率的に生産し、また雇用を創出する事業として、地域経済の活性化に大きく寄与するものと期待されます。宮崎太陽銀行と日本公庫はこれからも連携して農林水産業者の取組みを積極的に支援していきます。



（注）写真のご提供(株)タラッサ農園様

事業者名	株式会社タラッサ農園	代表者	縄田 一暢
所在地	宮崎県児湯郡高鍋町北高鍋 3200 - 6	業種	施設野菜（フリルレタス）
事業内容			
2016 年創業。ギリシャ神話の海の女神「タラッサ」が社名の由来。新富町と今回事業地（木城町椎木字新古場 581-1）の 2 か所にて、海砂栽培農法によりフリルレタスを生産販売。新たな施設は 2024 年 4 月稼働開始予定。			

対応する SDGs



目標 8. 働きがいも 経済成長も
 目標 13. 気候変動に具体的な対策を

<お問い合わせ先>

宮崎太陽銀行 地域活性化部 TEL：0985-60-6217（担当：野崎）

所在地：宮崎市広島 2 丁目 1 番 31 号